

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
	1	1 基本目標と役割	<p>新聞等の報道では、箱もの建設に躊躇されているように感じます。新文化施設が早く完成しなければ、若者はコンサートなどで県外に行かざるを得ません。景観を損ねるなど反対意見もあると聞きますが、老朽化し、広いとは言えないホールでは有名アーティストを呼べません。また、ステージスタッフからステージへの不満が出ていたと知り、些かショックを受けたことがありました。ステージはアーティストにとって表現の場であり、興行主が有名アーティストを呼びたくても会場に難があれば事故に繋がります。有名アーティストが来県してくれれば街興しにも繋がるので、有名アーティストがコンサートをしたくなる斬新で最新式のステージ機能が揃った文化施設を心から願います。後世まで誇れる県民のためになる施設を作って頂きたいです。</p>	<p>県民会館大ホール、秋田市文化会館大ホールの舞台の狭小さ、不十分な舞台設備という現状を踏まえ、整備計画（案）では、二つのホールの機能要件を定めたところであり、最新式のステージ機能を有するホールにしたいと考えております。</p>
	2	2 建設予定地	<p>県・市連携文化施設の建設予定地は、県民会館所在地が有力な案ですので、これを押し進めるべきです。パブリックコメントや県議会において様々な意見が出され、建設予定地への整備に反対意見もあり、振り出しに戻りかねません。すべての方から賛成意見が得られることは無理です。様々な形で意見を求める場合、どうしてもマイナスの意見のみが集中しがちです。提案に対して反対意見を述べられる方は、単なる反対意見のみでなくご自分が考えた建設予定地を提案し、予算など具体案を述べていただき、ある程度皆さんが納得のいくようお願いいたします。</p> <p>知事、市長は当初からコンパクトシティ構想を掲げており、中心市街地となれば、県民会館所在地しか考えられません。秋田駅からも近く、周辺には県美等文化施設とも連携ができ、いわゆる文化ゾーンとしての機能も果たせるほか、比較的大きなイベントも開催が可能となり、周辺のホテルも潤い、コンベンションとしての役割も果たせる。</p>	<p>ご意見のとおり、様々な観点から、県民会館所在地が適地と考え、建設予定地としておりますので、この場所に整備したいと考えております。</p>
	2	3 駐車場	<p>駐車場問題は、和洋高校移転の可能性が浮上し、解決の方向に向かっているが、県民会館周辺の交通が混雑することを考え、しっかりとした交通整備を検討する必要がある。</p>	<p>駐車場の確保と併せて、利便性の高い交通アクセスの確保にも努めてまいります。</p>
	3	4 その他	<p>8月に開催した県南地区県民意見交換会へ若者が参加しておらず、若い人にも参加しやすい環境づくりが必要と感じた。</p>	<p>今後も、運営管理計画の策定時など県民の皆様の意見を聴く機会を設け、できるだけ若い人達の意見も聴取できるように努めてまいります。</p>
	3	5 基本目標と役割	<p>J-POP、J-ROCKのコンサートは県内では少ないため、仙台、盛岡方面まで足を運ばなければならないことが多く、プロモーターやアーティストへの県や施設側からの訴えかけが必要と強く感じている。</p>	<p>施設の運営にあたっては、発表・鑑賞機会の充実として、若者が求めるような有名アーティストの公演の誘致も積極的に行っていきたいと考えております。</p>
	3	6 施設配置計画	<p>本人確認が必要なコンサートでは、入場待ちの時間が長くなるため長蛇の列になることも多く、施設内で待機できるスペースは必須だと思う。</p>	<p>エントランスロビーの面積は800㎡程度としており、1,000人規模での待機スペースは確保できるものと考えております。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
	3	7 駐車場	駐車場問題について、バス会社、プロモーターと調整し、郊外に大型駐車場を設け、シャトルバスを走らせることも1つの案だと思う。	施設を運営する際にはご意見も参考とさせていただきます。
	3	8 施設配置計画	舞台芸術型ホールはスタンディングライブに対応できるようにして欲しい。福井市響ホールでは、様々なライブに対応できる設備となっており、高校生限定などの定期ブックイングライブを開催しており、秋田も若者が輝ける環境にして欲しい。	舞台芸術型ホールは800席の固定席のホールとしており、スタンディングライブへの対応は難しいと考えております。なお、300㎡以上の広さをもつリハーサル室は簡易な舞台や音響・照明装置を備えることとしており、数百人程度収容してのライブコンサートにも対応できるものと考えております。
	3	9 その他	県民会館のない期間について、他の施設をプロモーターに提供できるような配慮も必要だと思う。	県民会館が使用できない期間については、秋田市文化会館をはじめとし、他の施設の利用を働きかけてまいります。
	3	10 運営管理	「〇〇ホール」、「××会館」では堅苦しいので、親しみやすく、県の収入にもなるネーミングライツの導入を検討したらどうか。	平成29年度以降、運営管理計画を定めることとしており、ネーミングライツの導入についても検討してまいります。
	4	11 基本目標と役割	リンクステーション青森、岩手県民会館、南陽市文化会館、東京エレクトロンホール宮城、會津風雅堂等、いずれも素晴らしいホールでした。生まれ変わる秋田県民会館が東北を代表するホールになることを願っています。	ご要望に応えられる、良い施設となるよう努めてまいります。
	4	12 施設配置計画	アーティストが準備した舞台セットがすべて再現できる高さ、広さのある舞台にして欲しい。	整備計画（案）でお示しした機能要件を備えたホールを整備することにより、舞台装置が大掛かりな公演にも十分に対応できるものと考えております。
	4	13 運営管理	アーティストの演出をむげに禁止するような堅い考えをなくして欲しいです。管理者の人柄や柔軟な姿勢など全てにおいてアーティストも来場者も「また来たい！」と思えるような姿勢が大切だと思います。特に館長の人柄は今後の秋田県を大きく左右すると思います。（建物が素晴らしいことはもちろん重要ですが）	施設の運営にあたっては、できるだけ出演者の要望に応えられるようにしてまいります。
	5	14 基本目標と役割	8年前に公約として掲げたから建設するのか、少子高齢化社会で2000席を常に満席でできるのか、建物や周辺の除雪、維持管理費はいくらになるのか、負の遺産になりはしないか危惧する。	これまでの県民会館、市文化会館の現状や実際にコンサートなどを企画する興行主等の意向を踏まえ、県・市連携文化施設の規模や諸室の構成を定めたものであり、本県に必要な施設と考えております。音楽事業等を除いた基本的な維持管理に要する経費は、年間4億円程度を見込んでおりますが、県民・市民の文化活動の拠点となる施設になるよう取り組んでまいります。

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
	6	15 建設予定地	2つのホールを有する文化施設を建設するにはあまりにも狭い土地、音響特性を犠牲にしなければならない高さ制限、中心市街地の千秋公園の景観保護などを考えますと、県民会館のある場所は新文化施設の建設適地とは考えられません。	交通アクセスやまちづくりなど、様々な観点から建設予定地を選定したものであり、整備計画（案）のとおり施設配置は可能なことから、音響特性を犠牲にしているとは考えておりません。また、設計にあたっては、施設の外観等について景観に配慮してまいります。
	6	16 その他	5月に劇場コンサルタント「シアターワークショップ」と契約し、既に提案書を受け取っていると伺っております。さらに、この場所に建設する諸問題も同社から提示されているものと推察しております。その情報は県民に公開されるべきものではありませんか。	整備計画（案）の施設配置計画が、受託事業者からの提案となりますが、この案は様々な法的な条件をクリアした上で提示しているものです。
	6	17 建設予定地	狭い土地に建設するために、保存樹の枝や根を切断して鋼矢板を地下2階まで打ち込み、土留め支保工をしながら徹底的に地下水を抜く難工事です。そのために建設単価の大幅上昇、保存樹を含む自然破壊は避けられません。そこまでして千秋公園にこだわるより、他の建設適地を探す方が県民・市民のためになるのではありませんか。 中心市街地に素晴らしい公園があることを秋田市民は誇りに感じています。同時にそれは大きな財産であり守るべきものと思料します。補助金に釣られて単価の高いコンクリートの塊を千秋公園入り口に置くことは賛成できません。	建設予定地である県民会館所在地は、交通アクセスの観点、周辺施設との連携やまちづくりの観点から適地と考えております。千秋公園の入口に相応しい外観の建物にできるよう努めるほか、保存樹についてもそのまま残すように整備したいと考えております。
	6	18 建設予定地	施設付近の交通渋滞についてお伺いします。工事中には多くの車両が往復し、待機するダンプカーなどの大型工事車両も道路を塞ぐと想像しますが、千秋公園、明徳館図書館、旧美術館の利用者に支障はありませんか。 また、施設完成後は、開演前後の特定の時間に多くの車両が狭い通路を利用するため、渋滞や違法駐車が発生しませんか。秋田市文化会館付近では、渋滞と違法駐車が年間10回以上発生しております。山王交番が実態を把握しております。実態調査やシミュレーションで、問題点を把握して解消する手段を講ずるべきではありませんか。結果として解消策がない場合は、他の建設適地を探す方が県民・市民のためになるのではありませんか。	工事の際には、住民の皆様や周辺施設の利用者には一時的に不便をおかけすることにはなると思いますが、今後数十年以上利用される施設となることから、整備についてご理解いただきたいと考えております。 また、周辺駐車場の協力を仰ぐなど、利便性の高い交通アクセスの確保に努めることで、できるだけ指摘のような問題が生じないように努めてまいります。
	6	19 これまでの取組	整備計画第10頁に県民会館の課題が記されていますが、大きな課題が2つ抜けているので整備計画に記載すべきではありませんか。 1つ目は、エントランスロビーが存在しないことです。人気のコンサート開場前には、1,000人ほどの入場待ちの人波が中土橋に、暑さ、寒さ、降雨・降雪に耐えて並びます。開場してチケットを提示してホワイエに入って、やっと屋内です。 2つ目は、舞台のプロセニウム高が僅か8mしかなく、そのことが原因して音の伝搬や反響が極めて悪いという大きな問題があることです。多くの演奏関係者がこの問題に気付いていましたが、当時は建築高さ制限によるものと諦めていたのです。したがって、2つの課題は整備計画に記載しなければならない重要事項であります。	課題として明記しておりませんが、新しい施設の機能は、こうした点を踏まえた内容となっております。

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
	6	20 施設配置計画	平成23年に開館した由利本荘市文化交流館カダーレのプロセニウム高は約13m（12.96m）であり、今後、県内自治体に計画されるホールもプロセニウム高は高くなることでしょう。新文化施設が50年以上の長期に使われることを考慮しますと、プロセニウム高は最低でも15mを必要とします。整備計画案に明示した14mでは、遠くない将来に他自治体のホールに追い抜かれるでしょう。加えて、福島県いわき市アリオスのプロセニウム高は15mであり、秋田県を代表する計画中の施設のプロセニウム高がいわき市より1mも劣っているのか、お考えをお知らせ下さい。	高機能型ホールは、基本的に多目的ホールであり、多様なジャンルの演目の発表の場にしたいと考えております。 プロセニウム高については、計画（案）で示した14mのプロセニウム高でも十分に音響効果を得られるものと考えております。
	6	21 施設配置計画	県民会館の延べ床面積は9,304㎡、市文化会館の延べ床面積は14,284㎡であり、合計23,588㎡です。整備計画第32頁では新施設の延べ床面積は21,500㎡と記載され、驚いたことに現在の2館を合計した面積より約2,000㎡も狭くなっています。県民会館と文化会館の機能を引き継いでいるはずの新施設は、2館の機能に何を加え、何を割愛してこの面積になったのかご教示いただきたい。	エントランスロビーや機械室、廊下など、二つの施設を一つにすることで縮減可能なスペースがあるものと考えており、それによって、施設の整備費はもとより、運営費の縮減も可能となるものであり、県・市が協働で事業を進めようとする理由の一つでもあります。 新施設は県民会館と市文化会館の機能を継承しており、諸室の構成については整備計画（案）の中でお示ししております。
	6	22 建設予定地	第12頁には、検討会等の経緯が記されていますが、平成27年9月までは建設場所が決定していなかったのです。それまでのパブリックコメントや意見交換会は、建設場所が決まらない状態で行われたものでしかありません。しかも施設の配置図を県民が目にするのは、同年8月4日付の魁新報です。図面を見て敷地が狭いことに気付いた県民も多数であり、それまで県民会館敷地に建設を支持していましたが、図面を見て翻意した人も多かったです。 したがって、県民会館敷地を支持する割合も大きく変動しているのではありませんか。図面を明示した上で、県民会館敷地に建設するのが最善か否か、より多くの県民から意見を募るべきではないでしょうか。	平成27年度に行った、25市町村での意見交換会等で具体的な候補地として県民会館所在地を挙げる意見も多くあったことも踏まえ、同地を建設予定地としたものです。
	6	23 これまでの取組	第13頁からは、県民意見の概要が記載されていますが、県民会館の位置に建設を肯定する意見は少数であったことを記載していません。建物高さを25mに抑えることに関し異論があったことなども記載していません。計画案に反対する意見の記載を避けたような印象は好ましくありません。 ③として文化団体等の意見が記載されていますが、秋田県芸術文化協会も秋田市文化団体連盟も、構成団体は華道、茶道、書道、俳句、絵画等のお師匠様、いわゆる和物の方々が大勢を占めています。基本的に高機能型ホールとの関連は少なく、利用が少ない方達から意見を聴取・記録することは、いささかの外れではありませんか。	平成27年度に25市町村等で実施した整備方針についての意見交換会では、市街地に整備してほしいという意見が多数で、具体的な場所として県民会館所在地という意見が最も多くなっております。全ての意見は列挙していませんが、吹奏楽連盟などホールを多く利用する団体の意見も踏まえた上で、整備計画（案）を取りまとめております。

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
6	24	基本目標と役割	<p>第15頁からは、県・市の連携を肯定する記述が目立ちますが、文化関係者からは、県・市が連携しなければならない理由が希薄との声も聞きます。連携のメリットを記載するのと同様に、連携のデメリットについても記述すべきではありませんか。</p> <p>また、狭い敷地に連携施設を建設するために、何らかの犠牲があるのではありませんか。施設が完成してから気付いて後悔するより、立ち止まってデメリットや何が犠牲になっているか検討してはどうですか。</p>	<p>県と秋田市の連携について、デメリットがあるとは考えておりません。県民会館所在地は、二つの施設を統合整備する上で狭小であるのご意見と思われれますが、必要な機能を備えた施設の整備が可能と考えております。</p>
6	25	運営管理	<p>整備計画の末尾に「施設の運営計画」があり、これをソフト事業としていますが、第17頁からの「基本目標と役割」こそがソフトの根幹と推察します。ここに記載している施設のコンセプト等は、これまでの利用者と行政が、手間と時間をかけて考えるべきものではありませんか。少なくとも行政からのお仕合せは避けたいものですが、県・市のご担当者はどう考えているのでしょうか。</p> <p>以下は、いわき芸術文化交流館アリオスの、市民の皆さんと積み重ねた検討の経過を踏まえて、いわきアリオスのハード・ソフトの両面に関わる基本コンセプトです。 （ホームページから引用）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に集い、ふれあい、楽しめるコミュニティであること。 敷居の高い「文化の殿堂」ではなく、子どもから大人まで、多くの市民が自分らしい楽しみ方、自分の居場所が見つけられる、新たな『コミュニティ空間』とします。 2. 自分を磨き、新たな価値を生み出す創造的活動拠点であること。 市民が日々の文化活動を通じて自らの感性や知性を磨き、芸術家や価値観の異なる人々との出会いが輪となって新たな価値を生み出す『生産と創造の場』とします。 3. みずみずしい芸術文化に触れ、地域への誇りをともに育む場であること。 地域の伝統文化から先駆的な舞台芸術まで、創造性と生命力にあふれる芸術文化にふれることで、地域に暮らす豊かさを実感できる『感動と共感の舞台』とします。 4. まちとつながり、まちを感じる賑わいの空間であること。 人とまち、人と文化をつなぐ「文化交流ゾーン」の結節点として、芸術の力を通じながら、市街地の刺激と活気、潤いや安らぎが享受できる『まちの広場』とします。 5. 地域における公共劇場の新しいスタンダードであること。 良質な響きへのこだわり、優れた舞台設備、臨場感あふれる客席空間、サロンとしての雰囲気づくりなど、お客様の満足度を追求した『居心地の良い劇場』とします。 <p>（引用終わり）</p> <p>以上は、いわき市民が中心となって考えたものであり、秋田県民には別の考え方があるべきですが、残念ながらそういった動きはないようです。秋田の行政はこのような動きを期待していますか、それとも嫌っているのでしょうか。</p>	<p>この整備計画（案）の基本目標と役割については、平成25年度に整備構想の策定に着手して以来、有識者による検討委員会や県民との意見交換会、パブリックコメントを重ねながら取りまとめたものがあります。</p> <p>整備が具体化した際には、施設の運営管理計画を定めることにしており、その際には運営方針をより具体的に定めていくことにしております。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
	6	26 運営管理	博物館や美術館には学芸員を配置することが法律で決まっておりますが、公共ホールにはそのような制度が無いようです。しかし、全国には芸術監督を選任したり、運営にNPO法人を選任したりする公共ホールも存在します。今回の施設の運営を、前述の様な専門家や組織にお任せするといった考えはありませんか。	どのような組織体制やスタッフで運営していくのかは、平成29年度以降に策定を予定している運営管理計画の中で定めていくことにしております。その際には、芸術監督の必要性等についても検討してまいります。
	6	27 基本目標と役割	第18頁中段には「欧米ではどんな小さな街にでも中心部に必ず広場があり～」との伝聞から、県・市連携文化施設に結びつけております。似た伝聞として、かつての川口秋田市長が「欧米ではどんな小さな街にでも行政が支援するオーケストラがあり～」と発言し、秋田市管弦楽団が創立されましたが、行政からの補助は途絶えています。 しかしながら、今回の「欧米では～」の伝聞には大きな前提が抜けております。欧米には数百年前から市街地の中心に広場があり、開発によって広場が失われないよう街並みの保存を心掛けているのです。秋田市にも、たった60年前、秋田駅前歩兵十七連隊の跡地という広大な広場がありました。それを都市計画と称して再開発、今の街並みがあるのです。「欧米ではどんな小さな街にでも中心部に必ず広場があり～」と引き合いに出すのは、これまでの都市計画の反省という観点でしょうか。	現在秋田市においては、第2期中心市街地活性化基本計画を取りまとめているところであり、その中で広小路・仲小路からエリアなかいちを経て中土橋・千秋公園に至るまで一帯を「芸術文化ゾーン」として、各文化施設が役割分担を図りながら県民、市民が日常的に芸術文化に触れ、憩える空間として充実する方針としております。 県・市連携文化施設は、この「芸術文化ゾーン」の中核としての役割を担うものと考えております。
	6	28 その他	全国のホールには様々な運営形態があり、芸術監督を選任しているホール、専属の管弦楽団や合唱団を有するホール、NPOが運営主体となっているホールなど様々です。連携文化施設に関しては、指定管理者制度を導入すると伺っておりますが、失礼ながら今の行政だけで管理仕様書を作成できるか疑問に感じております。アトリオン音楽ホール立ち上げ時には、故進藤史生先生が、強烈にリーダーシップを発揮なさいました。ホール仕様の最終決定、パイプオルガンの選定、5台のグランドピアノ、チェンバロ、ポジティブオルガン等々の選定を行っております。進藤先生のように精通した行政マンは存在しているのでしょうか。失礼ながら、パソコンを分からない人がいくら考えてもパソコンが思い通りに動かないのと同様に、分からない人には限界があります。現在、知事部局の職員だけで新文化施設に関わるプロジェクトを進めているようですが、限界ではありませんか。これより先は、深い見識をお持ちの教職員に加わって頂いては如何でしょうか。それが困難であれば、有識者会議を組織し、頻繁に意見を聞く方法も検討されては如何でしょうか。	ご指摘のとおり、行政内部には文化施設に知悉した職員はおりませんので、今後も有識者の意見を聞きながら、また、全国で数多くの文化施設の建設や運営に携わってきた劇場コンサルタントのアドバイスを受けながら整備を進めてまいりたいと考えております。

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
6	29	建設予定地	<p>第21頁に建設予定地について、①～③のようにバランスを欠く記述が認められます。</p> <p>① 文化施設の一般的な立地環境を書いている一方、秋田市はどうかについて一切触れていません。</p> <p>② 建設予定地について書いている一方、郊外や駅東に関して一切触れていません。</p> <p>③ 県民会館所在地の評価に関しメリットを列挙し、デメリットに関しては一切触れていません。</p> <p>したがって、思い込みだけで整備計画案が創られているのではと危惧しております。成案となる「整備計画」には以上のアンバランスを解消した記述をしてくださるようお願いいたします。</p> <p>第23頁に、施設整備に当たっての基本方針が記されていますが、【建物1階を道路面と同じ高さとし～】、【地下2階までとして地下1階に両ホールの客席を設け～】、【保存樹や土塁を温存し～】といった施設の基礎部分の説明が不足して不親切な印象です。これでは、審査や決定を行う議会や行政トップへの説明が不十分で、後に「説明を受けていませんでした。（豊洲市場問題のように）」と言われる恐れがあります。成案となる「整備計画」には以上の3点を明確に記述してくださるよう希望します。</p>	<p>整備計画については、県と秋田市が最終的に方向性を決定した事項を取りまとめたものであり、様々な可能性や選択肢を示す調査報告書とは別のものと考えております。</p> <p>また、この整備計画（案）の施設平面図案は、県民会館所在地に県・市が考えている施設を建てるのが可能であることを、例示的にお示ししたものであり、今後、基本設計の段階で敷地の利用方法も含めて、施設の配置、外観などについて改めてお示しすることになります。</p>
6	30	施設配置計画	<p>現在の県民会館は3 m程度の高台の上であり、さらに1 m程度の土塁の上に保存樹があります。計画では建物1階を道路面と同じ高さとするあり、坂がなくなることは好評であります。</p> <p>しかしながら、完成後は合計4 mの土塁の上に保存樹がある状態となり、土塁を石垣で土留めをすることは困難となり、景観保護とも大いに矛盾します。どのように保存樹を守るつもりでしょうか。</p>	<p>具体の施設配置は、基本設計の段階で改めてお示しすることになりますが、整備計画（案）の施設平面図案は現在地盤を活かしており、地下1階部分がほぼ道路面と同じ高さになるという想定です。この案では、現在地盤が残されているので、保存樹等の状況は現状と変わらないものと考えております。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
	6	31 施設配置計画	<p>第26頁に、高機能型ホールの機能要件が記され、高機能型ホールの可動プロセニウム高は10～14mとなっています。したがって、一般常識ではステージの真上には14mの空間と、緞帳などを支えるための構造材、メンテナンススペース等5mを加え、建築高は33mとなります。・・・この高い部分を建築用語で※フライタワーと呼んでいます。</p> <p>ステージが地下1階であることを考慮しても、建築高をどうやって25mに抑えるのか、理解の範囲を超えます。ぜひ、フライタワーの側面図、断面図を成案となる「整備計画」に記載をお願いいたします。</p> <p>高機能型ホールが目指す高度な音響は、マイク・アンプ・スピーカーに頼らず適正なプロセニウム高により達成されるものであり、失礼ながら1,124席のカダーレ・大ホール(由利本荘市)より約1m高いだけでは高機能型ホールとして不十分であります。2,000席のホールに、プロセニウム高14mは不十分です。50年以上にわたり秋田県民の誇りとなる施設であるために、僅かな費用増で済むのでプロセニウム高は15m以上とさせていただきたいと強く要望します。</p>	<p>建物の形状は基本設計の段階で具体化されますので、現在お示ししているものは一例に過ぎません。この案では、高機能型ホールの最高部（フライタワー）は現在地盤から25m程度の高さになります。舞台は現在地盤から5m下の位置を想定しており、舞台面からの最高部の高さは30mになります。プロセニウム高は通常10mで、クラシックコンサート等を行う場合、14m程度に上げることを想定しています。この場合、例えば10mのプロセニウム高に合わせた吊り物（例えば緞帳など）を14mのプロセニウムの上に吊り上げる必要がありますが、余裕が2m程度は必要となります。14m+10m+2m=26mとなり、これに作業場や天井壁等を合わせて4m程度は必要となり約30mの高さということになります。</p> <p>プロセニウム高が音響効果の大きな要素であるのは確かですが、ホール構造で必要な高さは決まってくるものと考えております。</p>
	6	32 建設予定地	<p>第32頁の1階平面図によると、施設南側（堀側）を駐車場にする場合、道路に近い土塁と保存樹は撤去しないと駐車もできず、消防車両も進入できないようです。（まだイメージ図でしかありませんが）コンサルの書いた図面を公開する前に、知事発言と矛盾しないか、点検すべきではありませんか。加えて、このような図面を提出したコンサルタントに、これから公金で支払いをするのでしょうか。また、図面を検討してコンサルタントに描き直しを命ずる職員は不在ですか。不在であれば、コンサル料金支払い前に専門部署に検討させるよう意見します。</p> <p>2つのホールを有する文化施設を建設するからには、災害発生時の避難施設（大人数収容施設）、災害対応の拠点施設としての機能が必要であるという意見があります。しかし、これだけ敷地目一杯に建設すれば、消防自動車や緊急車両の動きにも支障があります。さらに取付道路も誠に脆弱です。そこまでして千秋公園入口に建設しなければならない理由は希薄と、多くの方が発言しております。建設場所に関するメリットは第21頁に記載されていますが、デメリットも多く見受けられますので、同様に検討して計画書に記載すべきではありませんか。</p>	<p>基本設計の段階で、最終的な施設配置案をお示しすることになりますが、整備計画（案）でお示しした施設配置案でも一定の駐車スペースや災害発生時の避難経路は確保されているものであります。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
6	33	施設配置計画	<p>第34頁に地階平面図が掲載されております。図面通りであれば、一部の土塁を貫通しケヤキの根を切断する鋼矢板を地下2階に達するまで打ち込み、土留め支保工をしながら湧いてくる水を徹底的に排出する工事となります。工事車両や機材の仮設場所も限られる難工事となり、建設単価も大きく上昇することと見受けられます。別図赤線が貫通する鋼矢板のおよその位置（北・東は省略）また、計画図面通りであれば、完成後も南側に車両が進入できないこと、工事中の車両に出入りに支障があることから、お堀と道路に近い（図面右下）土塁と保存樹は必然的に撤去が必要です。文化施設建設と景観保全は両立できるとお考えでしょうか。図面からお考えください。</p>	<p>整備計画（案）は、外観イメージのとおり、土手や保存樹等をそのまま残し、お堀側に一定のスペースを確保でき、景観的にも問題がないものになっていると考えます。</p>
6	34	建設予定地	<p>第40頁に設計業務についての記述があり、これからプロポーザル公募により適切な設計者を選定するとしています。しかし、本年4月にプロポーザルを公募し、5月10日には東京都の劇場コンサルタント「(株)シアターワークショップ」と決定し、既に提案書を受け取っているはず。コンサル契約をしたことに触れず、何故このような書き方をしたのかご教示願いたい。また、常識的に考えるとシアター社から県民会館の位置に建設することの諸問題を提示されているはずなのでその情報を県民に公開していただきたい。秋田県議会本年9月の定例会等の質疑応答を拝聴しますと、千秋公園入口へ施設を建設したいという「強い意志」を感じます。その理由を単刀直入に県民に説明されては如何でしょうか。</p>	<p>整備計画の策定支援業務と基本設計委託業務は別のものであります。整備計画（案）を取りまとめる上では、現状の課題を整理した上で、法規制などについてクリアできた内容のものをお示ししております。なお、建設予定地の選定理由については、整備計画（案）に記載しているとおります。</p>
6	35	運営管理	<p>第41頁に、県民会館が使用できない期間の対応について「市文化会館利用調整会議」で文化会館の利用方法について協議し、円滑な利用の促進を図ると記しています。しかしながら、利用が集中するシーズンの土、日の大ホール利用は飽和状態にあり、利用を希望する団体同士で奪い合いとなっています。これまでの文化会館利用者に県民会館利用者を加えることを行政が主導するのは反感を招くことでしょうか。実態を調査していれば、調整会議といった発想にはならないと思います。このことはパブリックコメントや意見交換会で既に出ている問題です。住民から出た意見がここでも無視されているように感じております。</p>	<p>利用調整会議は、県民会館が使用できない間の市文化会館の利用ルールやその他代替施設の利用方法など全般について検討するものであります。その上で、秋田市外の施設等を利用せざるを得ない文化団体の支援策について、別途検討してまいります。</p>
6	36	その他	<p>第42頁に市内の主な文化施設が掲載されていますが、秋田県児童会館に隣接する子ども劇場（けやきシアター 778席）が見当たりません。市文化会館同様に廃止・解体を視野に入れているとすれば、秋田市内の文化施設の見通しといった形で公表すべきではありませんか。</p>	<p>秋田県児童会館は、整備計画上の役割を当てておりませんが、これまで同様に県民・市民の文化活動の場としても活用されていくものと考えております。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
	6	37 その他	<p>第42頁に(3)秋田文化交流発信センター機能の継承とありますが、運営している秋田県芸術文化協会を県・市連携施設に入れるということですか。秋田県民会館には秋田県芸術文化協会が間借りし、市文化会館には秋田市文化団体連盟が間借りしていますが、県・市連携施設でも同様にするつもりですか。2社団法人に加わるメリットがない文化団体も秋田県内に多数存在します。2社団法人を優遇して、所属しない団体を放置するのは、些か公平性を欠くではありませんか。</p>	<p>秋田県芸術文化協会、秋田市文化団体連盟は、特定のジャンルに偏らない多くの文化団体を傘下に持つ統括文化団体として、県・市とともに公益的な事業を行っていることから、文化施設内への事務所の設置を許可しているものです。新施設の整備に伴う取り扱いについては、今後の検討となりますが、こうした団体の性格や事業内容を踏まえて判断していくこととなります。</p>
	6	38 運営管理	<p>博物館（美術館・天文台・科学館・動物園・水族館・植物園等）には博物館法により学芸員を置くこととなっております。さらに、欧米の博物館・図書館・公文書館においてはキュレーター（curator）が置かれております。ご承知の通り学芸員は国家資格であり、キュレーターにおいては監督という位置付けで大きな権限を有しており、大学の教授クラスがその職に当たっております。不思議なことに公共ホールには、学芸員やキュレーターのような監督を置くという制度はないようですが、全国的には芸術監督というキュレーターに近い権限を持つ人を選任しているホールもあります。秋田の文化を積極的に発信していくことを考えますと、そのような職制が必要であり、施設計画段階から選任すべきと考えます。ソフト優先で考えると既に選任していても良いではありませんか。</p> <p>第36頁には「芸術文化ゾーン」という考え方を提唱しております。その考え方を活かすためにも芸術監督または専門家を選任し、ノウハウを全体構想に生かす必要があると考えます。ご承知のように一般人がどんなに頑張っても生み出せないノウハウを専門家は持ち合わせております。</p> <p>これまでの公共ホールには、有識者からなる「運営委員会」なるものが作られ、運営全般にアドバイスする制度があります。この組織をハードの検討段階から立ち上げることをお考えになったら如何でしょう。</p>	<p>平成29年度以降策定予定の運営管理計画の中で、学芸員やキュレーターのようなスタッフや芸術監督の必要性について検討してまいります。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
6	39	運営管理	<p>第44頁以降の「施設の運営計画に関して」は、パブリックコメント等でソフト面の検討が不足していると指摘を受け、慌てて計画書に追加した項目という印象を禁じ得ません。</p> <p>第46頁に施設運営のあり方が記され、「早い段階からから施設運営に精通した事業者や使用者の声を設計に反映させ、使い勝手の良い施設にしていく必要があります。」とし、運営管理計画を平成29～31年度に策定するとあります。文化に詳しい人材をもって直ちに着手すべき事項ですのに、何故29年度以降でなければならないか理解に苦しみます。</p> <p>第45頁に②ソフト事業計画という言葉が登場し、「開館前のPR活動」「開館後の取組」といった言葉を並べているが本来は別物でしょうし、内容にも全く触れていないので何を書いているのか理解に苦しみます。他の項目も何故このように分けたかも含め記載項目等の理解に苦しみます。失礼ながら、第1～第3に比べ、第4は分類も文章も稚拙であり、一旦白紙に戻し、しっかりした書き手により再構築すべきと考えます。</p>	<p>整備計画（案）の「施設の運営計画」は、検討事項の項目や大まかな方針を示したものであり、平成29年度以降、別に運営管理計画として取りまとめていくこととしております。</p>
6	40	施設配置計画	<p>高機能型ホールの緞帳は、生地や刺繍の特性上、絞ったり折りたたむ事が難しく、そのまま引き込むだけの高さが必要、プロセニウム高を14mに抑えても※フライタワーの高さは14+14+5=33mとなります。整備計画ではフライタワーの高さを現在地盤から25mとしています、その根拠は理解困難です。</p> <p>新施設が秋田県一を維持したければ、高機能型ホールのプロセニウム高は15m必要、つまりフライタワーは15+15+5=35mとなりますが、そのための経費増は些少であり高さは確保すべきです。</p> <p>県内第2位でも良ければ誰がプロセニウム高を決定したか（豊洲市場の例に倣い）経緯、責任者を記録しておくべきでしょう。</p> <p>あまりにも狭い土地、高さ制限、千秋公園の景観保護などを考えますと、県民会館のある場所は新文化施設の建設適地とは考えられません。</p> <p>なお、どうしてもフライタワーを25mに抑えるのであれば、緞帳を簡易なものとする選択肢があり、経費も大きく削減可能です。豪華な緞帳はいささか時代遅れになりつつあり、最近のホールは簡易な緞帳を採用しているようです。</p>	<p>プロセニウム高については、No. 31の回答のとおりです。緞帳等の必要性については、舞台機構全般の機能との関係もあることから、基本設計の段階で検討してまいります。</p>
6	41	その他	<p>建築高さに関し、既に契約を交わしたシアターワークショップもこの言葉を使用していますので、ネットから情報を引用します。整備計画案の47頁以降に用語解説が掲載されておりますが、外観決定に影響あるフライタワーも加えたら如何でしょう。</p>	<p>フライタワーという用語を整備計画（案）では用いておりませんので、注釈は必要ないものと考えます。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
	7	42 施設配置計画	建設場所として現在の県民会館は結構と思いますが、席数について、2,000席といわず、3,000席規模にしたらどうか。少子化、人口減少社会であるが、有名な歌手のコンサート、全国大会、国際大会の誘致を考えれば、当局の一考を願わずにはられません。建設費が高額になることは十分承知ですが、折角の施設ですので、県民、市民には異議はないと思う。	2,000席というホール規模は、県民会館を最も多く利用する吹奏楽団体やコンサート等を企画・実施する興行主の意見を踏まえたものであり、適正な規模と考えております。3,000席とホール規模が大きすぎると、整備費用や維持管理費が嵩むだけでなく、満席にできるアーティストも限られるため、本県での興行が減る可能性があるという指摘も興行主等からいただいております。
	7	43 駐車場	旧県立美術館は老朽化し、耐震の問題もあり、古き建物も良いが、千秋公園の花見、つつじ祭りの観光誘客のためにも、解体、一掃して駐車場を整備すれば良いと思う。また、和洋高校側のお堀も湖上駐車場として整備すれば、広小路商店街の復活にも役立つのではないかと。	旧県立美術館については、秋田市民の芸術文化活動の場としての利用を考えております。お堀の上の駐車場については、その景観を大事に思う秋田市民も多く、賛同が得られないと考えております。
	8	44 建設予定地	新文化施設の計画に大賛成です。電車、バス利用で集客の面からも立地条件は最高です。県民が皆新文化施設に期待しています。	ご意見のとおり、交通アクセスやまちづくりなど、様々な観点から県民会館所在地を建設予定地として適地と考えておりますので、この場所に整備したいと考えております。
	8	45 駐車場	専用駐車場は全く必要ありません。千秋花火の際も周囲の時間貸駐車場を利用していましたし、県民会館で歌舞伎公演があった際も電車やバスを利用していました。	施設の利用者や障がい者、出演者等のためには、一定規模の駐車スペースが必要であることから、敷地内と隣接地を合わせて250台程度の駐車スペースは確保したいと考えております。 また、県民会館所在地周辺には多くの民間等が運営する駐車場があることから、こうした施設の利用促進も図りながら整備を進めてまいります。
	9	46 施設配置計画	少なくとも現行のままの計画には反対です。和洋高校の敷地を使えるのであれば一体的に使用して余裕のある計画にするべきで、そのためには、泣く泣く保存樹や土塁も壊しても良いのではなからうか？ また、立地を考え、しかるべき人たちによるコンペにより、景観と使い勝手が考慮された、世界から見学に来るような建築にして欲しい。	具体の施設配置は、基本設計の段階で改めてお示しすることになりますが、整備計画（案）の施設配置案のとおり、土塁や保存樹等をできるだけ残したまま、必要な施設が整備できると考えております。
	9	47 建設予定地	立地については現在地がベストである。中心市街地に文化施設を集積させることは賛成ではある。間違ってもこれ以上、郊外に施設を作り、街を希薄化させてはいけない。 ただし、これからの人口減社会の中で、生産年齢人口一人当たりの公共施設の維持費・更新費は2040年までに倍以上なることが予想される。稼働率についても低くなると考えて良いと思う。	ご意見のとおり、交通アクセスやまちづくりなど、様々な観点から県民会館所在地建設予定地としておりますので、この場所に整備したいと考えております。また、県・市の今後の財政状況等を踏まえると、共同で整備するのが有益であり有用だと考えております。

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
	9	48 施設配置計画	バンド練習の場や、会議スペースについては民業を圧迫している面はないだろうか？民間のコワーキングスペースなどが秋田にできないのは、AUやALVEのフリースペースで済んでしまうところもある。かつてあった貸スタジオやライブスペースが復活出来ないのは公共施設が充実しすぎているからではなからうか？ALVEの1階に集まっている学生などは、本来なら駅前のファーストフード店に行くべき人だろう、変に稼働率を意識して民業圧迫しないようにしてもらいたいし、施設にあれもこれもと機能を持たせないでもらいたい。	公共の文化施設の多くは練習会場としての機能にとどまっており、本格的なライブハウスとして利用できないことを考えると、民業を圧迫しているものではないと考えております。県・市連携文化施設の音楽練習室についても、県民・市民の日常的な文化活動を支える上で必要なものと考えております。
	9	49 基本目標と役割	新文化施設はジョイナスと県民会館のみの統合により補助金対象にし、文化会館との統合はしなくても良いのではないだろうか？あと30年程度先に文化会館建て直し時期に来たら、人口減により、もう文化会館の後継施設は不要になるのではなからうか？	例えば人口50万人台の鳥取県や70万人台の高知県などの状況をみても県庁所在地に1,000人規模収容の文化施設が複数あり、一定の稼働率を維持しており、演目による役割分担なども考慮し、市文化会館の大ホールを継承する舞台芸術型ホールは将来を考へても必要と考えております。
	9	50 基本目標と役割	秋田県内のすべての市町村が合併しても政令指定都市ひとつ作れないのだから、今後、これは市民の施設、これは県民の施設などと分けて考えるのは無駄が多いと思う。大阪の規模ですらそういう話しになっているのに秋田は危機感が薄すぎる。そんな中で、あれもこれもは出来ないが、選ばれる施設になって欲しいと考える。それは音楽の公演なのか、はたまた吹奏楽の聖地なのか、舞踊の聖地なのかはわからないが、無味無臭の施設にしては面白くない。いずれ、特徴ある施設にしてもらいたい。	県・市連携文化施設は、2,000席の高機能型ホールと800席の舞台芸術型ホールという二つの特徴あるホールを有し、芸術性の高い公演や3,000人規模の大規模会議・大会を開催できる場として、県民・市民をはじめ多くの皆様に利用いただける施設を目指してまいります。
	10	51 施設配置計画	2,000席の高機能型ホールは、とてもありがたいです。これまで本当に待ちわびていました。吹奏楽の面でいうとコンクールなどでは、生徒にホール外に出てもらったり、学校ごとに生徒の半分ずつが交代で鑑賞するなどの対応をしてきました。 高機能型ホールと舞台芸術型ホールともにプロセニウム高が可動式というのは、音響的に楽しみなホールといえます。	期待に応えられるようなホールの整備を目指してまいります。
	10	52 施設配置計画	11tトラックが出入りができ、高さが、ウィングルーフのトラックに対応しているのもありがたい。搬出入口前に11tとまではいなくても、せめて4tトラック2台が展開（入り換えが）できるスペースがほしいです。搬出入口が雨天時も対応とありますが、雨に当たらないよう天井がある部分をトラックの長さくらいにしてほしいです。	整備計画（案）でお示しした施設平面図でも11tトラック2台が同時に展開できるようになっておりますが、実際に整備する際にも、できるだけ要望に応えられるような施設構造としてまいります。

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
10	53	施設配置計画	ステージの形状は、多目的ホールと考えるとプロセニウム形式は致し方ないのかもしれませんが、ちょっとクラシックよりになってしまいましたが、オープン形式（エンドステージ形式）がより理想的だと考えます。（音響的に考えると） ステージの床板の張り方は、音響上、必ず横でなく、縦に（客席に向かって）張ってほしいです。（アトリオンはそのようになっています。）	これまでの県民会館同様に、新施設も多くのジャンルの文化団体の発表の場としていくべきものと考えており、ホール構造はプロセニウム形式が適当と考えております。ステージの床については、ご意見を参考にしてまいります。
10	54	施設配置計画	リハーサル室が、舞台サイズ程度の広さとありますが、それでは、使い方に制限があり、様々な練習、たとえばオーケストラ（吹奏楽）やオーケストラ（吹奏楽）と合唱の合同などの練習ができにくいし、またオペラや演劇などのリハーサルもやりにくいと思います。（ステージの広さにプラスして広さがないと動きにくいので。）	リハーサル室の広さについては、その活用方法や頻度を考えると主舞台のサイズと同等で十分と考えており、大規模な練習についてはホールを活用していただくことを想定しております。
10	55	施設配置計画	エントランスロビーは、できる限り広くとっていただきたいし、機能性のみならず、デザインや雰囲気的にも訪れた皆さんが満足できる空間として設計していただきたい。	現行案では、800㎡程度を想定しておりますが、基本設計の段階でできるだけ広さを確保できるよう検討するほか、内部のデザインにも工夫を凝らしてまいります。
10	56	駐車場	駐車場の収容台数は、立体駐車場として700台前後は考えていただきたい。（秋田空港の立体駐車場程度の大きさは無理でしょうか。）これで間に合うとは思いますが、会館近隣の有料駐車場も利用してもらうというのは致し方ないと考えます。	県民会館所在地への出入り道路の状況を考えると700台前後の立体駐車場を敷地内に整備することは、敷地周辺の混雑を招き、来場者が不便を被ることになると考えております。敷地内と隣接地を合わせて250台程度の駐車スペースを確保するとともに、近隣の民間等運営駐車場の利用促進を図ってまいります。
11	57	建設予定地	県民会館所在地への建設は、様々な条件を考えると妥当ではないかと考える。	様々な観点から、県民会館所在地が適地と考えておりますので、この場所に整備したいと考えております。
11	58	施設配置計画	リハーサル室を小ホール的にも利用できるよう、簡易舞台、照明・音響設備の整備をお願いしたい。	リハーサル室については、小ホール的な利用ができるよう、簡易舞台、照明・音響等設備を備えたものにしたいと考えております。
11	59	施設配置計画	搬入口は、11tトラック2台付けができればベストであるが、1台でも対応できる。搬入口への出入り口で車がすれ違える方が作業がしやすい。	整備計画（案）の施設配置案では、11tトラックの2台付けが可能となっておりますが、基本設計の段階でも、できるだけ要望に応えられるような施設構造としてまいります。

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
	11	60 運営管理	施設の運営管理計画を早期に策定すべきであり、できれば芸術監督のような施設の運営を企画・プロデュースしていく立場の者を置くことを検討してほしい。	平成29年度以降策定予定の運営管理計画の中で、芸術監督の必要性について検討してまいります。
	12	61 施設配置計画	県民会館は、プロの演奏家から極めて評判の悪いホールで、その根源はプロセニウム高の不足と、楽屋周りの狭さと使い勝手の悪さ、機材搬入の不便さなどである。	ご意見については、現在の県民会館の課題と認識しており、新施設では、プロセニウム高や楽屋数の確保、使いやすい搬入口の整備などに留意してまいります。
	12	62 施設配置計画	施設配置案では、ポップスコンサートの場合、舞台周りの機材搬入が今以上に困難を極めます。9月の倅田來未のコンサートには11t車が6台来ましたが、トラックの取り回しに苦勞し、他会場の2倍3倍の時間を要し、待機場所もない。 また、開場前の列がキャッスルホテルまでお客様が並び、危険なほか過度な負担を強いている状況であり、施設配置案のエントランスでは面積が不足である。出入口については手荷物検査のスペースも考慮されていない。	現在の県民会館の課題と認識しており、解消に努めてまいります。また、手荷物検査や本人確認を行っているコンサートが増えていると聞いていますので、出入口のスペースについては、基本設計時に配慮してまいります。
	12	63 施設配置計画	発表会、コンクールなど出演団体が多く、入れ替わりが激しい催事や学校祭、音楽教室等学校行事は、県民会館の30～40%の利用を占めている現状からもっと優先的に考えていただきたい。吹奏楽コンクールでは、1日25団体、それぞれがトラックで楽器を運び入れ、15分間隔で演奏することとなり、現在はトラックの滞留時間をコントロールしながら運営していますが、新ホールでは搬入搬出が困難となり、コンクールが開催できなくなってしまう。	搬入搬出がしやすい施設となるよう、基本設計の段階で十分に留意してまいります。
	12	64 駐車場	駐車場について、来場者の普通車の駐車スペースのみを考えているようだが、肝心の演奏者、出演者への配慮を最優先に考えていただかないと本末転倒である。	敷地内には、障がい者、出演者用の駐車場を優先的に整備したいと考えています。
	12	65 施設配置計画	コンクールなど出演団体が多い催事が同時に2ホールで開催されることになると、準備に時間がかかり、1日借りればすむものが、2日間借りなければならないなど非効率な運用になりかねない。	基本設計時に、2ホール同時利用を想定した諸室の配置、動線計画について、さらに検討してまいります。
	12	66 建設予定地	無理して現在地にこだわらず、高速IC近辺など郊外立地を検討ください。県民会館が3年も4年使えない現実は教育現場にとって手痛いものになっていることを御理解ください。また、まだまだ利用価値が高い秋田市文化会館を存続させてください。	建設中は、ご不便をおかけしますが、様々な観点から、県民会館所在地が適地と考えておりますので、この場所に整備したいと考えております。 秋田市文化会館については、大規模改修によりある程度施設の寿命を延ばすことはできても、客席や舞台空間の充実など施設の機能を抜本的に高めることは困難であり、大規模改修した場合でも近い将来には建て替えの検討が必要になります。こうしたことから、新施設にその機能を移転することにより、新施設の整備後は解体を予定しています。

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
13	67	基本目標と役割	<p>県市連携文化施設の整備計画案に沿って早期に方針を決定していただき、整備スケジュールどおり、平成33年度内の完成を目指して建設を促進していただきたい。併せて、大型バス駐車スペースの確保、民間駐車場との連携を含めた駐車場案内システムの整備を方針どおり進めていただきたい。</p>	<p>整備計画策定後、速やかに事業に着手し、平成33年度中の施設の完成を目指して事業を進めていきたいと考えております。また、県有地・市有地を活用した大型バス駐車スペースの確保についても検討していきたいと考えております。</p> <p>また、近隣の民間駐車場と協議・調整を行い、分かりやすくスムーズな駐車に向け、駐車場案内システムの整備等について検討してまいります。</p>
14	68	これまでの取組	<p>P15/16の意見に関する県・市の考えは、P14/15の意見・要望を統合した上でそれに答える形で県と市の考え方を記載することが可能なら理解されやすいのではないかと。整備構想検討委員会で盛んに出された商工団体の要望も異なる主体として（1）の③として、P22の内容を組み込んだ上で、明示記載した方が、きちんと要望に応えることにつながるのではないかと。</p>	<p>13ページから15ページの県民意見の概要は、平成27年度、28年度に実施した県民との意見交換会の内容をまとめたものであり、「第3 施設の整備計画」に概ね反映されております。商工団体等の意見については整備計画の原案を作成する時点で、内容に盛り込まれております。</p>
14	69	基本目標と役割	<p>P18－基本目標のキャッチコピーは、やや飛躍している感がある。今からでも変更可能なら後段を「秋田の文化力を高め、文化の力を発信し文化の力で地域を元気にしていこう」に訂正しては如何か？</p>	<p>基本目標については、ご指摘のとおりですが、より正確に記するとすれば、「文化力を高め」の前に「文化の創造」や「文化に触れる機会の拡充」等の言葉が必要になると考えており、全ての言葉を入れるとキャッチコピーとしては冗長になることから、端的な表現としたものです。</p>
14	70	基本目標と役割	<p>P18－役割：最初に欧米の交流の場に言及しているのは、違和感を禁じ得ない。欧米とあるが、多くのヨーロッパの国々を旅行している経験からすると多くのヨーロッパの国々では、マーケットが開かれていた地域を中心に広場が発展したという歴史があることは周知されているが、米国と一括りにするのが適切かどうか。さらに「どんな」とか「必ず」という絶対的な表現は避けるべきである。主旨は理解できるが、ここは、慎重に表現すべきと考える。「文化交流の拠点」という表現も検討されたい。</p>	<p>ご意見を参考に、一部表現を改めさせていただきます。</p>
14	71	基本目標と役割	<p>検討委員会が出ていた外国人をも含む国内外からの観光客にも言及する必要があるのではないかと。</p>	<p>ご指摘のとおりですので、基本目標と役割の項に追記させていただきます。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
14	72	建設予定地	建設予定地について、「長年の歴史の中で育まれてきた千秋公園は、常緑樹の中で四季折々の自然の変化が楽しめる県都秋田市を象徴する都市公園であり、この自然的環境に囲まれた現県民会館所在地は、建築物を映えさせる最上の地である。さらに公共交通機関が集まる秋田駅からも徒歩圏内であることは、車を利用しない幅広い年齢層にとっても、国の内外からの観光客を呼び込む上でも地の利は大きい。」との記述はどうか。	ご意見の趣旨は理解できますが、千秋公園前への大規模施設の整備には様々な意見があることから、ここでは多くの方々に納得いただける確実な表現としております。
14	73	施設配置計画	周辺環境の整備について、①p36 5・6行目：市民は県民にすべきか？、②同8行目：バックグラウンドとした→借景或いは背景に（ここでのバックグラウンドは地理的な意味で使用されているのではないかと考えるので。さらにカタカナ英語より日本語の方が適切ではないか。）	秋田市の「芸術文化ゾーン」の考え方における記述を引用したものですので、このままの表現とさせていただきます。 ご指摘は参考といたします。
14	74	駐車場	民間駐車場との連携について、公演等の企画がない時の駐車場管理にも配慮すべきである。管理システムがないと、近隣の施設利用者が駐車し、当該施設訪問者に不便をきたすこともある。不足時は近隣の公営駐車場2か所を含め、民間駐車場を利用することにより、賄えるのではないか。	ご意見のとおりですので、専用駐車場の管理方法を十分に検討するとともに、民間等運営の駐車場との連携を進めてまいります。
14	75	運営管理	P45第4（5）「県民・市民の広場」は、「県民・市民・観光客の交流の場」にしては如何か？	一般的に文化施設は非日常的なパフォーマンスを観せることで、外から人を呼び込む建物となりますが、ここでは、それに加えて住民が日常的に集えるというコンセプトを表現するために「県民・市民の広場」としたものです。
14	76	その他	全体の表記に関して、①章立てにした方が呼びやすいのではないか。②用語解説は本文中には*印を付けると同時に解説ではページを入れられたい。③ナンバーリングの精査を（例）P13・P14にかけて（1）の下位に①②③があるが同時に意見内容に①～③が重複していることから。なお、P13の本文中にも①施設計画②建設場所③駐車場④その他と仕訳した標記の方が分かりやすいのではないか？	ご意見の趣旨に沿って、一部編集し直したいと思っております。

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
15	77	施設配置計画	<p>ホールキャパシティについて、大ホールを2,000席と芸術ホール800席になれば興行に限れば今まで1+1=2ホールだったものが1+1=1。つまり減になると思われる。理由としては800席では採算が取れない。また、大ホールに変更しようにも今まで県民会館を利用していたものとバッティングする可能性が大である。特に近年は休日に開催する傾向にある。会場のどちらの利用者も確保がかなり困難になると思われる。年間の稼働率を公開しているが、秋田の場合冬季間(12月中旬から3月中旬)は雪の影響の不安から避けているのが現状。当然この期間は稼働率が低い。それも含めて年間の稼働率から大ホールで間に合うだろうとの考えを見直していただきたい。会場確保が難しく取り難くなるようであれば、ツアー公演の場合などルートから外されることもあり得る。800席のホールはどのような観客を対象にしているのだろう。</p>	<p>ホールの規模については、これまでの県民会館、市文化会館の利用状況を分析し、文化団体等の意見も踏まえ決定したところです。県民会館は、年間100件以上が500人以下での利用となっており、吹奏楽のホール練習等が主な内容となっておりますが、そのうち半分程度は大きめのリハーサル室があれば実施可能と考えられます。整備計画（案）でもお示ししているとおり、市文化会館の大ホールは年間20件程度、興行会場として利用されており、800人以上での利用は年間40件程度となっております。こういった点を勘案すると、新施設の完成後には、高機能型ホールは吹奏楽や大規模な興行会場として利用され、舞台芸術型ホールは小規模な演劇、舞踊などの興行利用に加え、県内文化団体の発表の場となることを想定しております。</p>
15	78	施設配置計画	<p>敷地について、現在の県民会館の跡地に2つのホール、それに伴う関連施設を造ると決定されようだが、搬入等簡単に考えているように思われる。コンサートでは11tトラックが5～6台が普通になっている。地下に搬入とのことだがかなり無理があるように思える。計算上地下搬入は可能と言われていたが、当日トラックが進入できなかった会館があったとのこと。ツアートラックはハイルフなど、バージョンアップしている場合がある。</p> <p>また、掲載されているホールの施設配置案についてはあまりにも大雑把すぎて、多分ホールに行ったことがない方の案と思われるので、もう少し現実的なものをお願いしたい。具体的に設計基本ができる前に現場関係者の意見を十分に聞いて反映させていただきたい。聞くところによればほとんど会館へ行ったことがない方が設計されている場合があり、出来上がってから残念な会館が多いと聞く。外見重視ではなく、使い勝手の良い設計をされている方に依頼するか、コンペで選定していただきたい。</p>	<p>具体の施設配置は、基本設計の段階で改めてお示しすることになりますが、整備計画（案）の施設平面図案でもウイングタイプタイプの11tトラックが横付けし、作業できる施設構造としております。基本設計の際には、使いやすい搬入口となるよう留意してまいります。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
15	79	整備スケジュール	県民会館の空白期間について、県民会館を解体し、完成まで4～5年空白の期間が生じる。この間今まで県民会館で開催していたコンサート、芝居等は県民が目にする事が無くなる。その間は他の会館、施設等でとのことだが、芝居、ホールコンサートは体育館では不可能。秋田市文化会館や他市の会館でも採算面から外されると思われる。他の会館で予算を付けて補てんするのであれば可能な場合もあるかもしれないが、芸術、娯楽の機会が無くなることへの影響、小中高校生、一般社会人等の生の舞台鑑賞の機会が少なくなり、文化意識の低下が懸念される。	これまでの県民会館を利用してこられた皆様にはご不便をおかけしますが、新施設整備後には、これまで本県ではできなかったコンサートの開催や様々な芸術活動が可能になると考えておりますので、ご理解いただきたいと思ひます。県民会館が使用できない期間は、秋田市文化会館をはじめ、他市の文化施設の利用促進なども図ってまいります。 また、開館準備を効率的に行うなどにより、できるだけ使用できない期間が短くなるよう、努めてまいります。
15	80	これまでの取組	県外のプロモーターの方々にもご意見を伺っていると、それぞれ担当者によって意見が異なり、同じ会社内でも2,000席と言う方もいれば「秋田に2,000は必要ないでしょう」という方もいる。県民会館の空白期間についても知らない方が多い。いろいろご意見をお聞きしているとのことだが、一部の関係者だけでなく、もう少し範囲を広げて個別に意見を伺っていただきたい。	高機能型ホールの2,000席という座席数は、吹奏楽団体や興行主等の意見を踏まえ、決定したところではあります。今後も整備計画の内容について、広く周知を図ってまいります。
15	81	その他	このプロジェクトご担当者の皆様の中で県民会館や秋田市文化会館のコンサートに行かれた方はどの位いらっしゃるのでしょうか？中土橋の列に並んだことはありますか？コンサート機材搬入時をご覧になったことはありますか？	ご指摘のような意見も多数寄せられており、そういった意見も踏まえ、整備計画の諸室構成やエントランスロビーなど施設の機能要件を取りまとめたところであります。
16	82	基本目標と役割	建設に反対。市文化会館は僅か築36年。木造住宅ですらまだ住める。新築よりも大規模改修がベストだと考える。トイレも含めて。県民会館と切り離すべき。確かに県民会館は古く新築が視野に入る。だが高齢化率が全国一高い秋田県、県民会館の坂道を登るのがきつい県民もいる。税収も先細り。公金は若い世代の為に使うべきと考える。保育所の増設、保育料値下げ、コインバスを高校生に広げるなど。公務員達の中に自分の懐でないと「使わないと損」の感覚が見られる。公僕は死語か？	市文化会館については、大規模改修により引き続き使用するべきとの意見もありますが、ある程度施設の寿命を延ばすことはできても、舞台や客席空間の拡充など、施設の機能を抜本的に高めることは困難であると考えております。また、大規模改修をした場合でも近い将来には建て替えの検討が必要となります。 高齢者等に配慮した出入口への動線については、基本設計の段階で、ユニバーサルデザインの視点から検討してまいります。 なお、若い世代のための施策についても、新・県都あきた成長プランに基づき、着実に実施してまいります。

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
17	83	建設予定地	<p>秋田県民会館、秋田市文化会館に代わる県・市連携文化施設を整備しようという気概はとてもよいと思うが、現県民会館を予定としている建設地については断固反対である。</p> <p>まず考えられるのは、中心市街地の道路の大混雑である。来場者のための駐車場を秋田和洋高校の場所に建設するという案も出ているようだが、イベントがあるたびに道路が混雑するようでは、交通網が麻痺し、緊急車両なども通行できなくなる恐れがある。どうしてもこの場所に建設したいというのであれば、公共交通機関を抜本的に整備して積極的に利用を呼びかけ、マイカーの利用者数を低減させることが必須となる。私は中心市街地にこだわることなく、秋田市外旭川地区に整備するのが適切ではないかと考えている。外旭川といえば新駅建設の話題もたびたび浮上しているし、大手流通グループの「イオン」が出店を計画しているとも言われてきた。外旭川地区に県・市連携文化施設と駐車場を整備すれば、新駅とイオンの相乗効果により秋田市内に新たな拠点が生まれることになるだろう。秋田駅前のにぎわいが奪われると懸念する人もいるようだが、少子高齢化が急激に進む本県において、一点集約型のコンパクトシティをめざすのは夢物語である。むしろハブ機能を持った場所をいくつか設けることで、これからの秋田市のコミュニティは維持されていくのではないだろうか。ただでさえ莫大な費用がかかる整備計画である。性急に建設を急ぐのではなく、もっと大局を見据えて慎重に検討を重ねていくべきだと私は考える。</p>	<p>県・市連携文化施設については、平成25年度の整備構想、26年度の基本計画、27年度の整備方針に続き、今年度は整備計画を策定中であり、これまで十分に時間をかけて検討を重ねてまいりました。</p> <p>建設予定地である県民会館所在地は、交通アクセスの観点や周辺施設との連携、まちづくりの観点から適地と考えております。</p> <p>周辺道路の混雑については、隣接地へ整備する予定の駐車場と自動車の動線を基本設計の段階で検討するとともに、周辺駐車場の協力を仰ぐなど、利便性の高い交通アクセスの確保に努めるほか、バスなどの公共交通機関の利用についても周知してまいりたいと考えております。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
18	84	基本目標と役割	<p>この度の「県・市連携文化施設に関する整備計画（案）」では、ホール機能の充実のみが目的であり、秋田市文化会館を解体して秋田市がこの整備計画を秋田県と連携することに大変疑問を感じている。現在、秋田市文化会館が有する機能において、ホール機能はその一部であり全てではない。計画案で「文化創造部門」に明記された研修室等の機能はホールの附属施設でしかなく、文化会館の研修室の機能を移転・継承するものではないと思う。また、「芸術文化ゾーン（旧県立美術館の利活用を含む）」において、中央街区の既存文化施設や各地区の市民センター及びコミセンにその機能を分担させることで対応出来るとしているようだが、現在文化会館が果たしている機能を十分に代替するものではないと思う。特に文化会館の「和室研修室」の機能を継承する施設は計画案には無く、今後の実施計画案にも盛り込まれるか不安である。稽古等に利用出来る「和室会議室」の記載はあるが、茶会の開催には小規模である。</p> <p>重ねて、設備更新や耐震改修費用等の支出が必要であるとしても、利用可能な文化会館を解体してまで、県と連携して計画を進めることはメリットよりもデメリットが勝っていると思う。秋田県民会館は県民の施設であり、秋田文化会館は市民の施設であり、自ずと果たす役割は違うと思う。両施設が県庁所在地である秋田市に在るだけであり、両施設を統合することは本末転倒であると思う。</p> <p>「秋田の文化力を高め、文化の力で地域を元気にしていく」という、この計画が掲げている目標の達成は困難だと思う。現県民会館の老朽化による建て替えの必要性、需要や県民の要望に応じた規模の拡大には反対しないが、文化会館解体を伴う県・市連携のこの計画には反対し、県単独の新県民会館の建設を要望する。</p>	<p>県・市連携文化施設には、市文化会館のホール機能だけでなく、研修室等の諸室機能を移転することとしており、整備計画（案）で提示した文化創造部門には、市文化会館の諸室面積と同等以上の床面積を確保していることから、その機能を十分に継承できるものと考えております。</p> <p>また、本施設やその整備を前提に活用を検討している旧県立美術館とにぎわい交流館などの既存文化施設等が、役割分担や連携を図ることで、一帯を芸術文化ゾーンとして面的に充実させ、市民の利便性の向上やまちの活性化を図りたいと考えております。</p> <p>市文化会館の和室研修室については、県・市連携文化施設にも複数室設置することとしているほか、秋田市役所内のセンタースなどにも整備しております。</p> <p>なお、長期的な視点のもと、県・市が共同で、本施設の整備を進め、運営管理にもあたるとは、ホールの一体利用など、施設の広範な利用が可能となるほか、整備費の大幅な縮減も図られるなど、行財政改革の観点からも有用な取組であると考えております。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
19	85	基本目標と役割	<p>8月11日の意見交換会は県・市連携文化施設整備方針に対するもので、この整備方針の中ですでに秋田市は文化会館の解体、機能移転はまるで決定事項のように計画の前提となり、今回の整備計画に対するパブリックコメントの募集は、技術的な建築専門家に問うもので、県・市連携文化施設は建築されることが決定したかのようです。</p> <p>この進み具合をみれば、8月11日の意見交換会は、本当の意見交換会であり話し合いの内容など関係なかったようです。</p> <p>築56年、老朽化した県民会館の建て替えには県民として反対するものではありません、ただ秋田市の住民として、そもそもこの県・市連携文化施設計画に反対なのであり、新しい県民会館建設のために、あと十数年は使用可能な築36年の秋田市文化会館の解体、機能移転に反対するものであり、なにより県都秋田市に文化会館がなくなることにより強気に反対します。いまさらではありますが、秋田市文化会館の解体・機能移転に対するパブリックコメントの募集や意見交換会などの開催はなかったように思います。</p> <p>現在、秋田市文化会館は県都秋田市の文化の振興を図り、文化を創造していく中核施設としての役割をになっています。「秋田市の文化力を高め、文化の力で地域を元気にしていく」その目的の為に必要不可欠なのです。県内の他の市、大館市、北秋田市、能代市、由利本荘市、大仙市、横手市、湯沢市など市民会館、文化会館を持ち独自の文化活動の中核として十分な活用をしています。もし秋田市から文化会館がなくなれば、県都秋田市は、文化の振興を図り、文化を創造していく中核施設である独自の会館を持たない希代な市になるのです。</p> <p>秋田市には公、私を問わず数多くのカルチャーセンターやいろいろな教室などがあり、市民の多くがそれぞれの趣味を楽しんでいます。文化、芸術と構えることなくこれからの人生をより楽しく過ごすために日々練習や鍛錬、修行を苦しみながらも励んでいます。それを支えてやるということがとても重要で、大事な仕事なのです。文化会館を無くしてはいけません。</p>	<p>県・市連携文化施設には、市文化会館のホールや研修室等の諸室機能を移転することとしており、市の文化施設としての役割も担う施設であることから、日常的に文化活動を行う市民の活動の場となり、まちのにぎわい創出の一翼を担うものと考えております。県・市連携文化施設は、これまで秋田市文化会館が担ってきた役割を継承できる施設になるものと考えております。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
20	86	その他	<p>近隣にある和洋高校、国学館高校、2校共移転する。跡地を更地にすると、存分に利用計画が可能となる。駐車スペースはむろん、公園の整備も思い切ったことが出来ます。少子化時代を迎え、学校側にとっても縮小せざるを得ない状況にあるはず。渡りに舟となることでしょう。</p> <p>一案として、大町の空地を利用して高層階の建物として2校が入る。グラウンドは屋上にして、2校共用とする。</p> <p>二案として、周辺の住宅を大町の空地に多数階のマンションにして住民を移転。高校2校は、旧空港跡地に移転というのはどうでしょうか。</p> <p>とにかく、思い切ったことをしないと、ちょっとずつ、ちょっとずつしていたら、全て中途半端なことになりますし、将来に永く残せる遺産は出来ないことになります。</p>	<p>隣地の秋田和洋女子高等学校の敷地については、学校法人の協力を得られる見通しとなったことから、この施設の駐車場用地として利用させていただく予定としております。学校運営に関してはそれぞれの設置者の考えがありますので、コメントは差し控えさせていただきます。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
21	87	基本目標と役割	<p>今をさること数十年前に寺田九空氏始め芸文活動に勤しむ方々が、文化団体連盟をつくり、この大会館を創設する（寄合を集める）一翼を担った者です。</p> <p>歳月は経ち、時代の要請を無理に設定したとしか思われぬ、文化会館の活用寿命が終ったかのように、いづれ解体するという県市の方針が賑やしでに喧伝されています。</p> <p>単に、かつての愛着という協議の論理ではなく、この山王地区の繁栄とスポーツゾーンと文化芸術ゾーンと、神社、仏閣の長い、歴史の証言、菅原神社、日吉神社他、保存し、時代に永く活用する価値を有する、文化保存地域という価値を有します。</p> <p>文化会館を、広小路に向って建つ美術会館は、取り壊すといって、再活用するという詭弁を使ってとりあえず、まず、壊すことを前提としているのは許せない。まず、文化会館を更に活用して共用したいという心積りはよいのだろうが。</p>	<p>市内文化施設のあり方については、平成20年度に策定した秋田市中心市街地活性化基本計画において、「中心市街地外にある既存の教育文化施設については、建て替え時に中心市街地内への整備を優先的に検討する」としております。</p> <p>こうした方針も踏まえ、今後、中心市街地に文化施設を集約し、県・市連携文化施設やその整備を前提に活用を検討している旧県立美術館と既存文化施設などが、役割分担や連携を図ることで、一帯を芸術文化ゾーンとして面的に充実させ、市民の利便性の向上やまちの活性化につなげたいと考えております。</p> <p>市文化会館については、大規模改修により引き続き使用すべきとの意見もありますが、ある程度施設の寿命を延ばすことはできても、舞台や客席空間の拡充など、施設の機能を抜本的に高めることは困難であると考えております。また、大規模改修をした場合でも近い将来には建て替えの検討が必要となります。</p> <p>県・市連携文化施設には、県民会館と市文化会館の機能を移転することとしており、この施設が整備された時点で、機能が重複する市文化会館を存続させることは、財政的な負担も大きいことから、基本的には解体を予定しております。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
22	88	施設配置計画	<p>「県・市連携文化施設に関する整備計画（案）」を読んで、長時間に渡って検討した結果、現在の整備計画（案）のイメージになったことに対し、関係者に敬意を表します。</p> <p>意見：</p> <p>(1)文化施設に防災拠点としての機能を付加していただきたい。 理由：①市内の市施設（例えば、北部市民サービスセンター、土崎消防署、南部市民サービスセンター、南消防署、市役所正庁、秋田消防署等）はかなりの部分で津波の浸水区域（低地）なので、災害時機能しない。 ②文化施設として単一の機能でない複合機能（防災機能）を備えることによって、政策的にも合理的である。</p> <p>(2)小ホール（200～300席）追加及び学習研修室を追加する。 理由：市文化会館の解体及びジョイナス解体に伴う。</p> <p>(3)駐車場の確保に抜本策を！！ ①本棟付近駐車場は、舞台関係者及び障害者用車輛（50台程度）のみとする ②旧県立美術館を解体し、地下1階、地上2階の駐車場（400～500台） ③久保田城二ノ丸広場をイベント時の臨時駐車スペースに活用（100～150台） 又は、久保田城（山）内堀側にトンネル濠式の駐車場（100台） ④和洋高校敷地（穴門ノ堀側）を地上二階の駐車場（150～200台）に</p> <p>(4)文化施設（県・市連携）に旧県立美術館（平野）の屋根部分をデザインとして取り入れ活用する。 理由：(3)の駐車場の為旧県立美術館を解体するため。</p> <p>(5)有名人による設計は辞める。 理由：現県立美術館のような寸足らずの展示場（秋田の行事）のような失敗を避けるため、現状を熟知している者へ。</p> <p>(6)運営について 役所的発想は辞めてもらいたい。 理由：ステージ準備作業が08:30以降でないとオープンにならないシステムは廃止する。 監視の為職員が必要なら、時間外割増料金を徴収してでも、早く準備（06:30には準備オープン）出来る体制をとるべきと思料する。</p> <p>*駐車場について（余談） 文化施設ゾーン付近に民間の駐車場があっても、気を配る必要はないと思う。本当に中央地区の活性化を経営者自ら図るなら、所有土地を安易に駐車場にする考えを捨てない限り、中央地区の自立活性はないのではと思う。</p>	<p>ご意見を踏まえながら、今後、災害時における役割については検討してまいります。また、リハーサル室に簡易な舞台や音響・照明設備を備えることとしており、200人程度の小ホールとしても活用いただけるものと考えています。</p> <p>駐車場については、秋田和洋女子高等学校の敷地を確保できる見込みであり、敷地内と合わせて250台程度の駐車スペースを確保したいと考えており、周辺の民間駐車場等の協力も仰ぎながら、来場者の利便性確保に努めてまいります。</p> <p>整備計画の策定後に基本設計に着手したいと考えておりますが、千秋公園にマッチした外観となるよう、設計者の選定等に留意してまいります。</p> <p>平成29年度以降、施設の運営計画について検討してまいりますので、ご意見を参考とさせていただきます。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
23	89	概算事業費	<p>1、県市は連携文化施設の負担割合を概算面積比から、県57.5%市42.5%の負担と公表した。しかし、次の理由により著しい不公正な線引きであり、不当な高額費用負担を市に求めていることを市は応じるべきではない。</p> <p>①施設図面から、市舞台ホールより県高機能ホール面積は約2倍面積が大きい。2対1の面積比であり、ホール面積費だけなら市は33%程度である。</p> <p>②そして、市の3倍程度かかる高額な天井可動プロセニウム、照明等天井設備費は概算面積から除外されており。負担割合には考慮されていない。天井設備費をホール面積に考慮すると市は30%程度に低減する。</p> <p>2、県市の各ホール以外のエントランスロビー、文化創造部門、情報発信、にぎわい創出部門、管理共用部門の合計概算面積は11,600㎡である。そして、この概算面積の半分を単純に管理共用である事を理由に5,800㎡分は市に負担する事になっている。しかし、次の理由により著しい不公正な線引きであり、不当な高額費用負担を市に求める根拠になっており、管理共用を理由に概算面積の等分負担を市は応じるべきではない。</p> <p>①県高機能ホール面積6,500㎡市舞台芸術ホール3,400㎡あり、また座席数は2,000人と800人である。座席数を基にホール以外の各管理共用等の規模が設計される。この事により、各ホール以外の各管理共用等必要な面積の大部分は2,000人ホールの為であり、県単独1ホールにしても、管理共用等部門の必要面積が57.5%程度に収まらない。県単独1ホールにしても、80%程度の管理共用等の面積が最低必要です。市は残り20%前後を負担すべき面積である。</p> <p>②普通共同建設によってエントランスロビー等管理共用の建設工事費の削減を図る事が出来る。しかし、42.5%建設負担なら、市単独で市有地に同じ物を立てるより建設費が高くなり、県市共同建設するメリットがない。東口に単独で建設する方がましだ。</p> <p>3、県1ホールなら、現地に半地下3階建300台駐車場建設、和洋に20億円程度はない。</p>	<p>この施設は一体的に運営していくものであり、全体が県民会館でもあり、秋田市文化会館でもありません。その上で費用負担割合については、高機能型ホールは県民会館大ホール、舞台芸術型ホールは秋田市文化会館大ホールの代替施設とみなし、他のスペースは県・市折半とするという考え方で整理したものであり、現時点で面積割合で負担割合を定めることは一定の合理性があるものと考えております。</p> <p>現状の秋田市文化会館は約14,000㎡ありますが、新施設における市分の持ち分面積が9,000㎡程度になることを考えると、公共施設の最適化など行政改革の点で県と一緒に整備することが市のメリットにもなると考えております。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
23	90	基本目標と役割	<p>県市は連携文化施設を現地建替にすることをしています。しかし、県市2ホール建設案では、敷地面積が2ホール2,800人規模からは明らかに狭いために無理やり押し込めた施設配置案である。その為にまともな駐車場はない。そして、ホール以外の特にリハーサル室、練習室、会議室等が無きに等しいほど設置出来ない。この事はホールの活用を妨げる素因になる。これらは、県単独1ホール2,000人なら、300台駐車場を含めてすべて解決する敷地面積であり、現地立替なら県単独1ホール建設がベストである。</p> <p>秋田では県案の大ホール2,000人は殆ど土曜・日曜しか利用できない規模であるから、土日以外はにぎわいのない空家同然になる為に平日も利用可能性が高い小ホール併設案で市を抱込み小ホール建設費を負担させようとしている。しかし、小ホールを建設しなくても、旧県立美術館を改修して300人前後の小ホールを設置する事は可能です。それこそ、目の前の旧県立美術館と連携するべきである。これで2ホール案になる。</p>	<p>敷地内に二つのホールを整備することは十分に可能ですが、駐車場は敷地内だけでは十分に確保できないことから、隣地の秋田和洋女子高等学校の敷地を確保し、敷地内と合わせて250台程度の駐車スペースを確保する予定としております。</p> <p>高機能型ホールの2,000人という規模は、県民会館を最も多く利用する吹奏楽団体やコンサート等を企画・主催する興行主の意見を踏まえたものであり、適正な規模と考えております。</p> <p>旧県立美術館の利活用については、ご意見を参考にしながら検討してまいります。</p>
23	91	駐車場	<p>車社会の今、県市はH34年度以降現市文化会館解体を予定していますが、解体して中心市街地の各文化施設の利用率の向上（にぎわい）を目指している。しかし、現市文化会館の利用率は附属の駐車場212台だけでなく、無料の山王、八橋地区公共駐車場の利用も含まれる。有料なら現市文化会館の利用者はそのまま中心市街地に移行しない。現中心市街地の各文化施設の駐車場では一部短時間以外は有料である。各文化施設利用者はすべて無料駐車場でなければ利用率向上にぎわいを生まない。</p> <p>一円でも安い物を買物する時代に駐車に何百円も支払うのはめったにないです。庶民は行けない。</p>	<p>敷地内及び隣地に250台程度分の駐車スペースを確保したいと考えておりますが、多くの来場者については、これまでの県民会館利用者と同様に、主に周辺の民間駐車場等を利用していただくことになると考えており、駐車場経営者の協力を仰ぎながら利用者の利便性確保に努めてまいります。</p> <p>敷地内及び隣接地に整備する予定の駐車場の利用料については、ご意見を踏まえながら、今後策定する運営管理計画の中で検討してまいります。</p>
24	92	施設配置計画	<p>新しく建設する文化施設に関しては外観にも凝った秋田を象徴するランドマークともなりうるものにしていただきたい。秋田を象徴する建造物について秋田県民数名に尋ねてみたが「強いていうならセリオン」という程度で自信を持ってオススメするものはあまり聞くことができなかった。そこで、観光客も記念写真を撮りたくなるようなランドマークにしていただきたい。特に秋田らしさを伝えられるようにあきたこまちの稲穂や秋田杉、雪などをコンセプトにすることで他には無い特別な存在ともなりうると思う。また現在の県民会館の建設当時の資料によると「新しい感覚と美しさ」を持った建物であると記述があるが、今見てみるとインパクトに欠け、あまり美しいとは思えない。</p> <p>そこで時代が変わっても、50年未来であっても変わらずに美しいと県民に感じさせるような外観にしていただきたい。ぜひ、見た目にもこだわりぬいてください。</p>	<p>ご意見のとおり、県・市連携文化施設は、整備後数十年間は県民・市民に利用していただく施設になることから、設計に当たっては、この施設が千秋公園を背景に周囲と美しく調和した景観を形成し、県市を代表するシンボリックな存在となることを目指してまいります。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
25	93	基本目標と役割	<p>県・市連携文化施設に問題点が多くあり反対です。秋田市文化会館は築36年まだまだ十分使える。又、国文祭に舞台の照明設備に3億円もかけたのがムダになる。県民会館を県独自で建て替えるべき。</p>	<p>市文化会館については、大規模改修により引き続き使用するべきとの意見もありますが、ある程度施設の寿命を延ばすことはできても、舞台や客席空間の拡充など、施設の機能を抜本的に高めることは困難であり、整備は必要と考えております。また、大規模改修をした場合でも数十年後には建て替えの検討が必要となります。</p> <p>長期的な視点のもと、県・市が共同で、県・市連携文化施設の整備を進め、施設の運営管理にもあたるとは、ホールの一斉利用など、施設の広範な利用が可能となるほか、整備費の大幅な縮減も図られるなど、行財政改革の観点からも有用な取組であると考えております。</p>
25	94	駐車場	<p>駐車場の確保問題については、6月になって秋田ニューシティ跡地活用断念、果たしてどこまで確信があったのか。</p> <p>他方、知事は「駐車場は民間のものを利用を」と言うが、最近、和洋高校を移転させ、その跡地をと、場当たりのため、当初予定経費の200億円からさらに嵩むことになる。</p> <p>又、新施設及び駐車場予定の和洋高校は車のアクセスが極めて不便と思う。</p>	<p>駐車場の確保については、できるだけ近い場所に駐車場を設置してほしいとの意見を多くいただいております。</p> <p>隣接地への駐車場整備に向けて取り組んでいるところであります。</p> <p>隣接地へ整備する予定の駐車場と自動車の動線及び駐車場までのアクセスについては、今後、十分に検討してまいります。</p>
25	95	整備スケジュール	<p>先ず建設ありきの姿勢であり、現秋田市文化会館（ジョイナス含む）の会議室・ジョイナスの音楽演奏室等が果たして確保されるのか。</p> <p>又、仮りに県民会館が解体され新施設が開館するまでの4年間の空白はどうするのか。</p>	<p>県・市連携文化施設の文化創造部門には、研修・会議室やバンド練習が可能な練習室を整備することとしております。</p> <p>県民会館が使用できない約4年間については、利用者にご不便をおかけすることになりますが、県民・市民のご理解をいただきながら、丁寧に対応してまいりたいと考えております。</p> <p>具体的には、これまで県民会館を継続的に利用していた催しについては、代替施設となる県立武道館や県内他市の文化施設等の利用促進を図るほか、その際に必要とされる支援策について、文化団体など関係者の意見を聴きながら、今後、検討してまいります。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
25	96	建設予定地	新文化施設と千秋公園の景観について、建物の高さ、県民会館周辺の土手や保存樹を残すことができるのかどうか疑問がでる。	建物については、地下を有効利用することで、千秋公園や周辺の景観に影響がない高さであると考えております。 土手や保存樹については、保存を前提としており、工事の際にも最大限の配慮をしております。
25	97	これまでの取組	この間の県民、又、市民に対する説明や利用者への聞き取り等不十分である。もっと多くの県民利用者の理解を得るための説明をすべきである。	県・市連携文化施設については、平成25年度の整備構想、26年度の基本計画、27年度の整備方針に続き、今年度は整備計画を取りまとめているところであり、その過程で県民との意見交換会やパブリックコメントの実施など、これまで十分に時間をかけて県民・市民への説明や意見の聴取に努めてまいりました。整備が具体となった以降も、県民・市民への丁寧な説明に留意し、できるだけ多くの意見に耳を傾けてまいります。
26	98	施設配置計画	建物については、格調高く、百年過ぎても残したくなるような建物を建てるべきです。また、新たな「文化」を創ることをすべきです。	ご意見のとおり、県・市連携文化施設は、長く県民・市民に利用していただく施設になることから、設計に当たっては、この施設が歴史ある千秋公園の緑を背景に周囲と調和した景観を形成し、県市を代表するシンボリックな存在となることを目指してまいります。 県・市連携文化施設の基本目標である「秋田の文化力を高め、文化の力で地域を元気にしていく」を実現するため、県全体の文化の振興を図り、文化を創造していく中核施設となるよう取り組んでまいります。
26	99	駐車場	駐車場については、利用者（車）は無料、そうでない者（車）は有料は当然のルールです。規模は、500～600台分は必要でしょうか？堀の一部に立体駐車場を作るとか、近隣の駐車場とか、空き地とか、利用転用が考えられる土地建物等などについて、創意工夫とアプローチが不足していませんか。	隣接地に整備する予定の駐車場の利用料については、ご意見を踏まえながら、今後策定する運営管理計画の中で検討してまいります。 また、近隣の民間駐車場と協議・調整を行い、分かりやすくスムーズな駐車に向け、駐車場案内システムの整備等について検討してまいります。

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
26	100	施設配置計画	内部は多分野が利用可能となるシンプル、ビックな構造とすべきです。クラシック、演歌、邦楽、若い人の音楽etc、何でも可能として、特定の分野を意識した設計はダメと考えます。	高機能型ホールについては、基本的に多目的ホールであり、多様なジャンルの演目の発表の場にしたと考えております。 舞台芸術型ホールについては、演劇、舞踊など舞台芸術の上演を主用途とするホールとすることとしております。 二つのホールで役割分担を図ることで、多くのジャンルでの活用ができるものと考えております。
26	101	施設配置計画	環境については、予定地の樹木の伐採は無いのですネ。広小路通りから巨木の景観は、まさに「秋田市の文化」です。もしも、切るなら「新文化・・・」どころか、数百年の「秋田市の文化」を失うことになります。	敷地の境界にある保存樹については、千秋公園と相まって、まちの歴史を伝えてきた大事な歴史遺産であり、千秋公園周辺の文化的な雰囲気を醸成している要素の一つであると認識しており、保存を前提としております。
27	102	建設予定地	施設建設計画を閲覧致しましたが、過去3年の利用状況からみて、今後将来に向けて、右肩上がりの増加は考えられない。2000と800でも将来を見据えれば、人口の急激な減少と高齢化により、来場者、利用者共に減少に向かい、経済的にも高額な料金の催事は、次第に敬遠される方向が予測される。 よって、施設規模は、両施設併せての計画として十分耐え得ると考えられ、むしろ、駐車場は、民間、現在施設利用で補完できる故、過大な投資は不要と考えられる。 仮に、250台もの車を収容する場合、現在の市道の倍幅員の整備がなければ、延々と渋滞が生じ、且つ、事故発生等による市道管理責任が問われる等、負の面が表面化し、県・市の無計画性が問われることになりかねない。 故に、現状の100台で十分安全策が将来共に確保でき、過大な無駄な投資を避ける一面からすれば現状維持が最善である。 当該地域は秋田市の風致地区指定地でもあり、新たな形状変更は法的にも避け、将来に残す往古の歴史的景観と共に中心市街地としての自然景観美を次世代へ貴重な特有資産としての価値観を引継ぎ保全していくことが最善の行政姿勢であると確信する。 現況を出来るだけ保全することが当該地区の法的措置として正しいあり方であり、県民・市民の啓発に努められることを願い、秋田市、秋田県の新たな開発行為は絶対避けたい。	興行主やこれまで県民会館を活用してきた文化団体等の意見を踏まえると、今後の人口減少を考えても、2,000席のホールが本県には必要であり、2,000席、800席の二つのホールによる構成は適当なものと考えております。 敷地内と隣地に駐車場を整備する際には、敷地内外の動線の工夫を図り、できるだけスムーズな出入となるよう検討していくほか、保存樹等についてもできるだけそのままとし、併せて施設の外観についても周りの景観に配慮したものとしてまいります。

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
28	103	基本目標と役割	古いとされる市文化会館は必要な手当てをすればまだまだ使用できます。大きな駐車場もあり、市民にとっては大変使い勝手のよい施設です。市の解体する方針には賛成できません。	市文化会館については、大規模改修により引き続き使用するべきとの意見もありますが、ある程度施設の寿命を延ばすことはできても、舞台や客席空間の拡充など、施設の機能を抜本的に高めることは困難であると考えております。 また、大規模改修をした場合でも近い将来には建て替えの検討が必要となります。 こうしたことを見据え、県・市連携文化施設には、県民会館と市文化会館の機能を移転することとしており、この施設が整備された時点で、機能が重複する市文化会館を存続させることは、財政的な負担も大きいことから、基本的には解体を予定しております。
28	104	施設配置計画	現県民会館の地に新施設を建設し、駐車場は和洋高校を移転させて確保するプランも練られていますが、同校近くの櫛は歴史的価値があり文化遺産に指定されていることから無理があります。	敷地の境界にある保存樹については、千秋公園と相まって、まちの歴史を伝えてきた大事な歴史遺産であり、千秋公園周辺の文化的な雰囲気を醸成している要素の一つであると認識しており、保存を前提としております。
28	105	基本目標と役割	そもそも何故に県と市が一緒になって文化施設を建てなければならないのか明確な理由が示されていません。市は現文化会館を存続し、老朽化した県民会館は県単独で建設するのが一番現実的な考え方ではないでしょうか。この場合、解体されるジョイナスに替わる機能が必要になります。別の建物に移動するか、新たに建設するかを検討しなければなりません。	長期的な視点のもと、県・市が共同で、県・市連携文化施設の整備を進め、施設の運営管理にもあたるとは、それぞれ別々に整備を行うよりも、ホールの一体利用など、施設の広範な利用が可能となるほか、整備費の大幅な縮減も図られるなど、行財政改革の観点からも有用な取組であると考えております。 県・市連携文化施設には、研修・会議室やバンド練習が可能な音楽練習室を整備することとしており、ジョイナスの利用者のニーズにも対応することができると考えております。

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
28	106	これまでの取組	そもそもこのプランは現在の知事と市長の発案であり、県・市両議会に示された建設計画も場当たり主義のそしりを免れませんし、計画に無理があり議会でも十分な審議が尽くされていません。	県・市連携文化施設については、平成25年度の整備構想、26年度の基本計画、27年度の整備方針に続き、今年度は整備計画を策定中であり、これまで十分に時間をかけて検討を重ねてまいりました。 この検討の過程においては、県・市議会はもとより、県民市民との意見交換会や文化団体等からの意見聴取、パブリックコメントなどを行っており、整備計画（案）には、様々な意見が反映されております。
29	107	概算事業費	駐車場整備等に必要な事業費及び財源等（県と市の負担額・割合等）はどうなっているか。	駐車場整備等に必要な事業費については、現段階では、建物移転補償費等についての調査が必要ですが、現時点では、他の高等学校校舎建設費を参考に、20億～25億円程度と考えております。また、財源については、国庫補助や有利な起債を活用することを想定しており、できるだけ県・市の負担額が少なくなるよう努めてまいります。 県と市の負担割合については、県57.5%、市42.5%となっております。
29	108	駐車場	買収申し入れ、契約、駐車場建設、駐車場使用開始など駐車場整備の事業スケジュール（見通し）はどうなっているか。	駐車場の整備のスケジュールについては、開館までの完成を目指し隣接地の建物所有者と協議中であり、県・市連携文化施設の設計や施工のスケジュールと調整を図りながら、お示ししたいと考えております。
29	109	駐車場	臨時の駐車場を設ける場合（場所、台数、経費等）、臨時の駐車場を設けない場合の具体的対応など、駐車場整備が、新たな文化施設の開館から遅れる場合の対応をどう考えているか。	駐車場の整備が県・市連携文化施設の完成に遅れることとなった場合には、周辺の民間駐車場等の利活用により対応したいと考えております。

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
30	110	建設予定地	<p>奥に隠さず街にあることを見える劇場にして、産業会館も併設して街の流れを良くするべきである。劇場は木内デパートと産業会館跡地に2,000名と500名と100名の会場ステージがあるといい。移転の長所は、県民会館がそれまで使用可能になることだ。</p>	<p>ご意見の場所には、民間の所有地が含まれていることから、コメントは差し控えさせていただきます。建設予定地である県民会館所在地は、交通アクセスの観点、周辺施設との連携やまちづくりの観点から適地と考えております。</p> <p>舞台芸術型ホールは2階席を間仕切りすることで、500名程度のホールとしても活用できるようにしたいと考えており、リハーサル室が200人収容の小ホール的な利用も可能になることを考えると、ほぼ、ご意見に沿った会場使用が可能になると考えております。</p> <p>県民会館が使用できない約4年間については、代替施設となる県立武道館や県内他市の文化施設等の利用促進を図るほか、その際に必要とされる支援策について、文化団体など関係者の意見を聴きながら、今後、検討してまいります。</p>
30	111	施設配置計画	<p>トイレは、女子だけでも最低100必要です。男子も50程度以上必要である。</p>	<p>高機能型ホールではトイレの必要想定数を110程度とし、そのうち女子用は70程度と考えております。また、舞台芸術型ホールについても40程度は必要と考えており、そのうち女子用は25程度と想定しております。</p>
31	112	施設配置計画	<p>私は、35年くらい前に大阪で商業演劇に出演していた経験のあるものです。舞台芸術ホールは是非舞台を横幅、奥行きとも広くしてもらいたいです。今まで中央や首都圏で公演したのと同じ舞台セットが組めない舞台、ミュージカルでは出演者が手足を思い切り伸ばして踊れない広くダイナミックに演じきれない舞台でした。宝塚に至っては階段が5段バージョンを見ました。さみしかったです。だから担当者の方には沢山のホールを見て回ってもらって専門家の意見をよく聞いて、どんなミュージシャンや演劇公演が来ても対応できるホールを作って下さい。半端なものはいりません。</p> <p>研修室や会議室は要らないと思います。なかいちやAU交流館にあるし、そのために2000席以上のキャパシティと舞台の広さを削らないでもらいたい。それにこないだ歌舞伎公演を観に行ったところ歌舞伎はセットもたくさんのパターンがあるし、衣装、かつらや道具も多いので置くスペースがなかったのか、入口の横に結構な数のものが置いてありました。楽屋も狭いのではないかと思います。この日は、ほとんど満員で近くのなかいちに駐車しましたが出口に来るまでに30分かかりました。駐車場も考えてほしいです。</p>	<p>舞台芸術型ホールについては、十分に演劇等の公演ができる舞台サイズを考えております。大規模なミュージカルや商業演劇等については、高機能型ホールを活用いただくことを想定しており、18m×18mの2.5面構造の舞台サイズで十分に対応可能なものと考えております。</p> <p>この施設は県民・市民の日常的な文化活動にも利用いただくものであり、一定程度の研修室や会議室も必要と考えており、楽屋についても十分な数や広さを確保したいと考えております。</p> <p>駐車場については、隣接地へ整備する予定の駐車場と自動車の動線を基本設計の段階で検討するとともに、周辺駐車場の協力を仰ぐなど、利便性の高い交通アクセスの確保に努めるほか、バスなどの公共交通機関の利用についても周知してまいりたいと考えております。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
31	113	基本目標と役割	<p>一昨年盛岡市の美術館へ伊藤若冲を観に行ったんですが、広い公園の中にあり、駐車場は広く十分でした。駅から離れていましたが、バスが何本も来ていて年配のかたは、利用していました。展示場も広く県民のための展示場も広くとってありました。とてもおおきくて立派な建物でした。それに対して秋田では三ヶ所もあるけどみんなせまいです。秋田の行事もせせこましくて全体を見にくいし、引いて見れないので。細部を近くで見ようとしたら、照明のためもありテカってよく見ることができませんでした。せっかくの藤田嗣治作品が狭いところに押し込められていて悲しく思いました。県民のための展示場も広くないです。書に関しては、長い書があるので利用できないのですという声も聞きました。本当は大きいのがほしかったです。駅前にはアルヴェ、アトリオン、AU交流館など研修室あり情報発信所ありの同じような建物が建てられました。三ヶ所もいったかしらと思います。このことからぜひおおきくて広いホールを建ててください。県民のためをお願いします。</p>	<p>この施設の高機能型ホールの2,000席という収容規模は、興行や吹奏楽などの利用を考えると最適な規模と考えておりますので、実現に向けて努力してまいります。</p>
31	114	建設予定地	<p>建設予定地について、その立地環境を交通等の利便性が高く、気軽に利用できる市街地にとあるが、全国ツアーコンサート等は日本全国からファンが集う催しであることから、むしろ、会場が郊外に設営されていれば、駅からのバス便、タクシー利用、宿泊、飲食店等へも経済的な効果の波及が期待できるのではないかと。例えば仙台セキスイアリーナのように。</p>	<p>全国ツアーだけでなく、県民・市民の日常的な文化活動にも来場者がアクセスしやすい公共交通機関のターミナルである秋田駅に近い場所に整備することが望ましいと考えております。</p> <p>県民会館所在地は、公共交通機関のアクセスの良さに加え、周辺の文化施設との連携が可能であり、秋田市の歴史や文化を象徴する場所であることから、適地と考えております。</p>
32	115	建設予定地	<p>建設予定地については、現在の県民会館所在地は、二方を堀に囲まれ、平面図案を見るまでもなく、将来的な増改築は困難と推測される。さらに、駐車場用地として隣接する和洋女子高校敷地買収という案も出てきている。高校敷地買収とは、単に土地と建物（校舎）を買い取るということではなく、卒業生、在校生の学び舎に対する思いを無にする行為であることに気づいて欲しい。</p> <p>区画整理が進行しつつも、空地が多い駅東口や郊外地域の利用につき、再考すべきと考える。</p>	<p>県・市連携文化施設については今後数十年使用するにあたり必要な施設機能をきちんと盛り込んで整備したいと考えております。</p> <p>和洋女子高等学校の移転については、学校法人の理解を得て進めてまいります。</p>

県・市連携文化施設に関する整備計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
33	116	建設予定地	<p>先日配布された県広報、県議会報告においても、現県民会館所在地への建設については、疑問の声が多く見られた。</p> <p>秋田市としても、一部の推進派の訴えに追従することなく、より効果的で効率的、予算を無駄使いしない案を提示してゆくべきと考える。</p>	<p>長期的な視点のもと、県・市が共同で、県・市連携文化施設の整備を進め、施設の運営管理にもあたるとは、ホールの一休利用など、施設の広範な利用が可能となるほか、整備費の大幅な縮減も図られるなど、行財政改革の観点からも有用な取組であるとと考えております。</p> <p>整備計画（案）でお示ししているとおり、県と市が共同整備することで、国の助成も期待できることから、それぞれが単独で整備するよりも県民・市民の負担は軽減できると考えております。</p>
34	117	基本目標と役割	<p>1 200億円余の予算は、国の政策に寄り添った考えだろうと思います。</p> <p>市、県は連携せずにそれぞれの予算と構想を考えるべきです。</p> <p>まず、現県民会館は55年の歴史を持つもので、歴史的資産として評価することが必然であり、今後は耐震性の補強を外的デザインと装飾を取り入れた秋田県の第Ⅱの文化施設として存続し、老朽化した部分の補修（例えば外部のドレン、内部の男女のトイレの適正化、舞台の拡大補強、芸人部屋の増設、など）で充分と考えます。</p>	<p>県民会館については、築55年が経過し老朽化が著しいほか、改修するにしても狭小な舞台を拡げることなど、現状の施設の課題を抜本的に解消することは困難であり、建て替えが必要と考えております。</p> <p>県と市が共同整備することで、国の助成も期待できることから、県・市連携文化施設の整備を推進したいと考えております。</p>
34	118	建設予定地	<p>2 その場合の文化施設として、第Ⅰの施設が必要となります。具体的構想として、JR秋田駅東口にある2haの駐車場が立地として最適地と思われます。県のものでありますから県民の足として、県北、県南の足としてJRの利用手段が最適でしょう。そしてそれが効果もあります。したがってJRの協力も必要とするところです。</p> <p>ネーミングには多々考えられますが一例として、オペラハウス、スミソニアンホール等色々ありましょう。</p>	<p>ご意見の場所は民有地であり、コメントは控えさせていただきます。県民会館所在地もJRやバスのターミナルである秋田駅から徒歩10分圏内にあり、交通アクセスの良い場所であるとと考えております。</p> <p>施設の名称等については、今後、県民・市民の皆様のご意見を伺いながら検討してまいります。</p>
34	119	その他	<p>3 旧記念館は、昭和35年に解体され県立図書館・県民会館に生まれ変わりました。</p> <p>旧記念館は、「大正天皇御即位記念会館」として大正4年10月に着工、大正7年4月完工しました。現在は上記の御名蹟がいくにも示されず歴史を消しております。</p> <p>三基のドーム型頂部で飾るルネッサンス式木造洋館は、左右対称の典雅な姿を見せ秋田の文化の殿堂として親しまれました。誕生して98年その歴史を復元することによって表題の構想にある800人規模を秋田市が担当しそれが秋田市の歴史として、亦秋田市のシンボルとして亦立派なモニュメントとして、市民に誇れることでしょう。</p> <p>そしてそのリッチ的に最高の適地は旧産業会館跡地です。山王大通りから東の正面にあたり都市景観上も好ましいものです。</p> <p>是非とも旧記念館を当地に復元したいと考えます。</p>	<p>同じ施設の中に2,000席の高機能型ホールと800席の舞台芸術型ホールがあることが、施設の利用範囲を拡げることになっていると考えておりますので、一体として整備することにご理解いただきたいと思っております。</p>